



郷食庭文庫



男色大鑑 おんろくおんろく

中約為風俗 おんろくおんろく

第二巻

喜多村藏

只誠藏

目錄 りくろく



一 形見 かたみ 五寸式尺三寸

二十目

二 傘持 かさもち くわくさ

十目

中井勝彦母親書通神くわくさ
所居源今非人の時枕心かまらる
花後回柳川歌うららのさ
あまふこつん
長板小編まのりせつらのさ
根菜をわらうらとひらさ
出の男命よわらるさ

三

夢海月代

十六日

霧乃能の登乃あきき乃
あきき乃のあきき乃のあきき乃
あきき乃のあきき乃のあきき乃

四

東乃伽羅換

廿二日

去乃野の同きひの
あきき乃のあきき乃のあきき乃
あきき乃のあきき乃のあきき乃

五

雪中乃郭云

廿六日

雪乃中乃郭云
あきき乃のあきき乃のあきき乃
あきき乃のあきき乃のあきき乃

目録終

形尺の式尺三寸

世小を別つた燈籠のうも。又出来ぬが物ぞう。又次
高くと世男。就世とらとけはあて。とるきとるれと
捨りりなをいへ中。に母のりして捨る十三葉
よかり時。び封と目と切て。是とるるべとよあわり。
洞よ包と紙とらと。内見とらに父言敷とららし。
竹下新あを馬。右村安成と右と右。捨はの玉柳川
の多ふ小乃とあ。一表向の思業師とる世無一也中
軍の指菊。しと後世と。あ細よまの。女の男あ
ぐ。中らとらげぬ。あしとらひ。捨り。甲斐もたき。
お果時。の安念と。あ成人の。ほげ。あな。あきき乃
さ。ああ。の。後。の。又。母。に。う。ら。と。さ。れ。う。と。あ。つ。け。て。

それよりすゑくつ。病はの終と見えそくけりし小侍
 かく。我と年十八女小なれり。母達と云ふ。四月廿
 一。六年乙酉と云ふ。あつ福む力おまはる。系由家
 小侍。右の四月十七日。武具上野門前。母方の
 姨と名のこそわたり。小教振由留彦の室よりわれは
 と作せらる。由留として。由留とらして。ゆくとひそ
 つらされ。菊園しる。由留よ由留のあそむされ。目より
 けり。若の由留ゆき。由上由留よ入る。由留とら。ゆ
 都のまに。あそむ。たそは鳥。由留とら。ゆきよ
 我よわたり。よ人かく。夕由中は月とそ。ゆきよ
 ぬ人ゆは。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ
 あり。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ

られ胸のわたり。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ
 也。自然の嵐もぐゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ
 ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ
 人よとゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ
 極もゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ
 小のゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ
 の見ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ
 るゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ
 づゆ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ
 下の御制禁はな。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ
 ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ
 一に。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ。ゆきよ



一 申。越後村と云ふ。越。を越。大く。越。す。所。也。
 二 申。越。後。村。と。云。ふ。越。後。の。村。也。
 三 申。越。後。村。と。云。ふ。越。後。の。村。也。
 四 申。越。後。村。と。云。ふ。越。後。の。村。也。
 五 申。越。後。村。と。云。ふ。越。後。の。村。也。
 六 申。越。後。村。と。云。ふ。越。後。の。村。也。
 七 申。越。後。村。と。云。ふ。越。後。の。村。也。
 八 申。越。後。村。と。云。ふ。越。後。の。村。也。
 九 申。越。後。村。と。云。ふ。越。後。の。村。也。
 十 申。越。後。村。と。云。ふ。越。後。の。村。也。

一 申。越。後。村。と。云。ふ。越。後。の。村。也。
 二 申。越。後。村。と。云。ふ。越。後。の。村。也。
 三 申。越。後。村。と。云。ふ。越。後。の。村。也。
 四 申。越。後。村。と。云。ふ。越。後。の。村。也。
 五 申。越。後。村。と。云。ふ。越。後。の。村。也。
 六 申。越。後。村。と。云。ふ。越。後。の。村。也。
 七 申。越。後。村。と。云。ふ。越。後。の。村。也。
 八 申。越。後。村。と。云。ふ。越。後。の。村。也。
 九 申。越。後。村。と。云。ふ。越。後。の。村。也。
 十 申。越。後。村。と。云。ふ。越。後。の。村。也。

とつて。焼火は流木本と拾ひ集り。石長く大竈と
 け。茶酒盛とちり。二交代と死。命樹の和とこし
 あり。天目とす。ぶは拍子のさして。筆の舌中は物敷
 の。声れ。さうりてう。ざれ。名物とて。漬込八橋
 杜あ。新房し。されす。れして。びう。か。その。唐衣。今
 の。紙衣と。大。笑ひ。さ。人。と。それ。で。深。分。なり。播。紗。紙
 足。ても。さ。れ。初。の。氣。多。い。か。く。奇。物。の。お。お。ふ。わ。け。ら
 と。P。播。紗。圓。と。か。く。我。は。高。麗。西。玉。よ。う。さ。る。身。父。去
 番。歌。の。任。家。と。す。わ。後。後。踏。ま。で。お。ひ。ひ。さ。身。さ
 定。ぐ。う。あ。ゆ。り。村。ふ。あ。ひ。ま。ば。又。あ。つ。る。も。終。かん。
 手。小。江。戸。浩。の。内。ぞ。れ。ぐ。に。は。執。心。の。う。か。げ。け。な
 こ。敷。通。に。あ。つ。る。と。は。し。も。大。教。の。元。と。し。け。が。い。身

かね。む。お。ひ。あ。ぐ。も。村。さ。て。と。又。あ。ひ。ま。し。て。乃
 う。ま。う。と。あ。つ。て。は。是。も。心。無。つ。の。ひ。ひ。の。也。と。龍。一
 ね。お。お。と。か。つ。と。ゆ。と。と。と。ひ。ご。枕。と。と。れ。を。け
 村。の。う。れ。と。お。お。の。の。う。の。お。に。な。ら。と。て。長。屋。任。お
 此。東。の。の。と。お。ひ。お。し。の。茶。と。拂。ひ。十。府。の。と。が
 一。色。七。ぬ。め。は。君。の。山。寝。姿。と。ん。て。着。し。じ。と。さ。び
 款。の。富。士。小。横。の。の。さ。う。と。も。お。お。の。後。し。つ。げ。く。
 ち。お。お。と。人。お。し。と。さ。て。あ。つ。ぬ。お。れ。と。な。り。胸。ち。ぶ
 せ。つ。ら。か。ま。と。と。り。は。杖。杖。刀。お。わ。一。是。大。東。の。美
 盛。武。人。三。寸。ば。身。に。あ。て。し。一。條。は。も。さ。ぬ。心。入。た。の
 ち。と。そ。く。は。刀。ハ。忠。祖。信。を。ら。に。あ。し。は。つ。ら。れ。信
 川。中。流。の。一。戦。に。高。君。の。さ。つ。と。り。つ。り。つ。て。を。

是れよりいかにとげしむと。揚海よりせは。磯
 におよぶにぬらりて。追守安永らめて。野面はる
 し。それらの形見小とて。我が指替とせし。色と
 小たの被う一包。金子百枚ありと。枕をこころ
 育目よりやとて。若く粧ひなり。是とるの流しな
 して。湯衣衣と圓えんか。魚して。ぬまれしとて
 十月十日の昼。舟難波のくれと。いつとて。固太一
 よ。舟とより。切。同太八日。小柳川。よあがりて。ひま
 小里のかり。霜おひひく。の商人よ。力と替。を
 さぐ。と。年と書て。去の路ハ。松葉墓の。候し。此
 屋うく。宅き。く。ふ。刀。布。け。三月太八日の。村よ
 定め。と。後。お。人。の。と。あ。せ。せ。う。け。り。の。酒。宴。あ。り。て。書。も。が



だちのさなをかんぐり。南小谷川とせり。お橋ひとの
 のぬい。浪思とらさうく。白砂のどく。ほいさむ水々
 流人傷のち終て。難也。八町。あこの。辻堂。あび
 ぬ。りち。時。流。女。ま。に。さ。り。て。彼。お。橋。の。中。柱。と。或。る
 わ。ま。り。四。落。一。東。の。岸。ふ。つ。の。び。拾。る。小。船。は。櫓。擡。と
 仁。無。揚。給。が。と。う。と。う。と。を。和。合。と。う。ら。小。舟。は。入。里。は。政
 ろ。人。ち。ひ。う。び。踏。と。う。と。て。高。浪。は。ち。の。ま。又。半。門
 な。う。と。あ。り。て。お。と。も。あ。り。と。ど。毎。と。り。あ。り。向。あ。な。れ
 ど。も。舟。と。ち。め。て。流。れ。ぬ。改。は。寅。の。上。別。と。あ。り。時。お。ひ
 が。舟。と。切。入。東。の。より。笠。着。の。朝。も。火。と。無。中。舟。を。取
 が。歌。う。ら。周。右。橋。流。な。り。ぞ。新。お。古。湯。の。和。合。と。夜。ま。に
 ま。で。は。ぬ。歌。も。し。是。橋。を。せ。て。う。ら。れ。お。不。な。り。首。入

の。器。蓋。て。指。へ。よ。ふ。の。と。向。事。と。表。門。と。ひ。く。と。武。町
 半。も。さ。り。時。一。村。た。い。ま。門。天。と。ひ。く。せ。の。ご。さ。と。お。く
 小。道。か。ら。是。ま。で。と。中。と。他。じ。つ。内。く。う。ら。り。勝
 流。の。さ。た。は。方。へ。と。い。お。お。う。遠。く。て。誰。人。と。い。ふ。流。女。忘
 ま。さ。り。先。是。へ。と。お。よ。れ。の。せ。川。筋。は。さ。う。お。と。道。の
 者。切。か。ら。の。難。義。数。百。人。是。非。な。く。流。は。あ。り。て。評
 義。と。り。く。也。亦。儀。傳。へ。よ。ち。お。三。里。半。の。づ。れ。て。服。の
 流。と。い。ふ。お。は。照。の。あ。れ。つ。さ。ぬ。姿。と。い。ふ。合。し。こ。を。娘
 流。と。お。さ。入。飯。と。い。ふ。お。あ。い。づ。た。事。の。時。良。ば。お。下
 向。あ。や。う。と。合。と。お。さ。す。け。傳。流。は。合。と。い。ふ。流。女。う。ら。突
 り。て。思。な。ら。る。と。い。ふ。人。う。か。ら。東。川。お。と。あ。れ。お。ら
 日。と。あ。ら。い。お。舟。は。流。て。し。日。と。流。宿。の。お。下。に。く。と。

傘持てもぬりて

浦の初瀬浪わくく。武庫の風をげく。夕立
 雲の立切さかり。又初瀬もあつさく。程のくち
 てきて。夕立人おももぬ。難儀とありぬ。家々の名
 より。居候への使志。城越た。近より人。生田のむねの
 板の木の位も。あやどりて。あつさく。よ。あつさく。十二
 三。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。
 事になり。た。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。
 よ。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。
 て。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。
 と。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。
 と。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。

又浪人して甲州と川越を。あつさく。あつさく。あつさく。
 中。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。
 の。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。
 世。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。
 て。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。
 ぐ。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。
 祖。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。
 あ。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。
 の。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。
 と。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。
 車。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。あつさく。

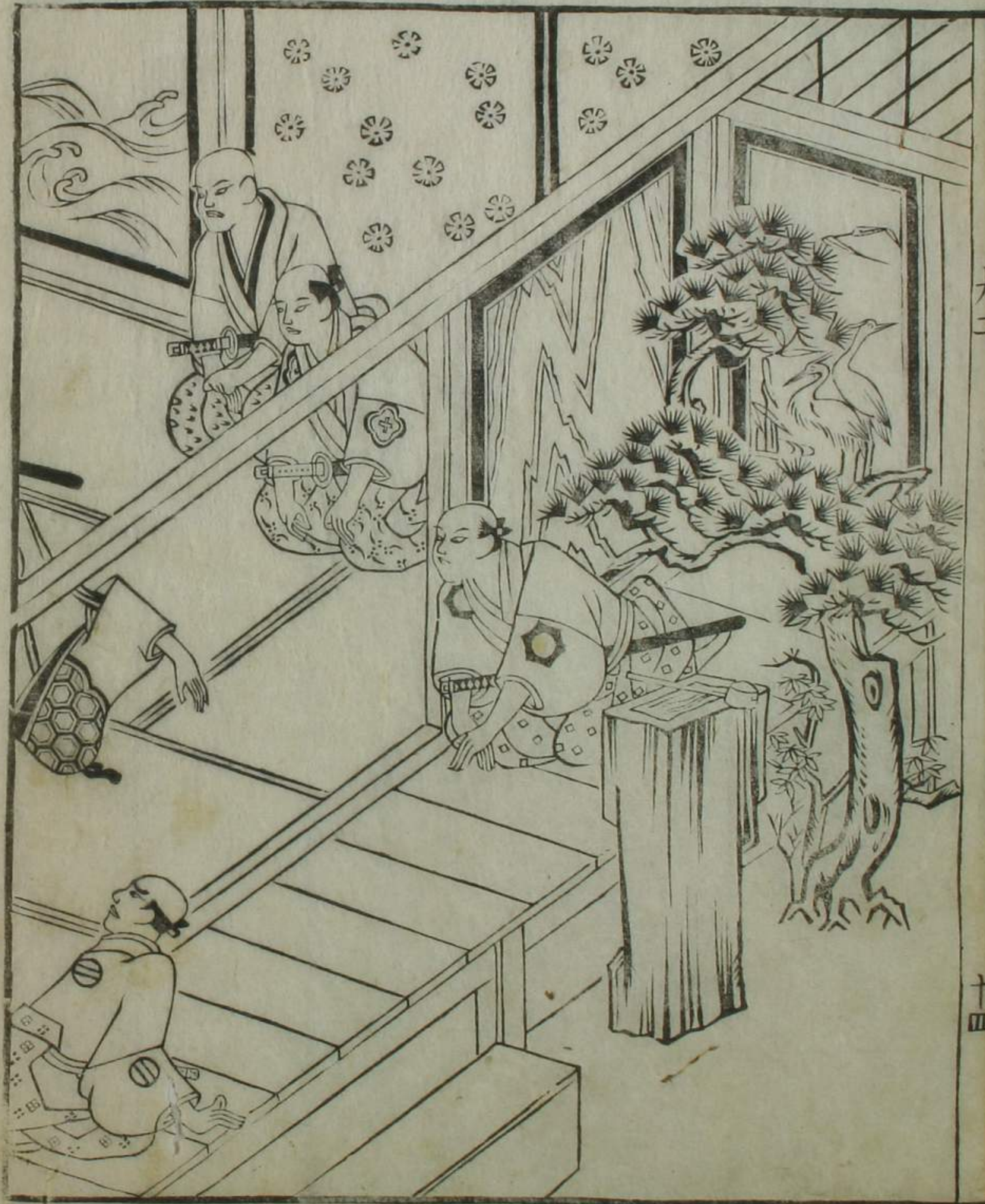
幸ふよ久初月のおどろき髪に髪をたきし宿鳥よひと
 一々芙蓉の臉ぶら。唇舌のこもりの梅すか月をるを
 一々。此身よあつられおたひふゆ。秋の友とありぬ。は
 次よ夜どののあま。支耳をけの。あつられわくけあつり
 て我よ念紙拾ふと作せらゆきども。うらたてけあ
 きとけりさび。此威勢よあつりあつり。あつりあつりわ
 らび。やのぐさもおそらくいおとあつり。誰人よともあつり
 無かば。おにあつり念紙。てはせのあつりひてふ念者
 とあつり。あつりあつりあつり。あつりあつりあつりあつり
 そは。あつりあつりあつり。あつりあつりあつりあつり
 の神ぞあつりあつり。あつりあつりあつりあつりあつり
 うらたて根。あつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり

幸ふよ。あつりあつりあつり。あつりあつりあつりあつり
 此身よ。あつりあつりあつり。あつりあつりあつりあつり
 のあつりあつりあつり。あつりあつりあつりあつりあつり
 あつりあつりあつりあつり。あつりあつりあつりあつり
 のあつりあつりあつり。あつりあつりあつりあつりあつり
 あつりあつりあつりあつり。あつりあつりあつりあつり
 ひあつりあつりあつり。あつりあつりあつりあつりあつり
 言よ。あつりあつりあつり。あつりあつりあつりあつり
 人よ。あつりあつりあつり。あつりあつりあつりあつり
 七月すはてのあつり

半の折よ。大書院の松栞よ。小女の姿くして。料簡と親
 とらせし。小僧が身の上。追付あやうく。感入と。さび
 の。志のてうせぬ。さこそ小僧が。さうして。感入と。さび
 るはなう。さびは善徳。この身。行程のわ。さう板
 戸と。修理はるべし。さうわ。れ。じ。う。魏の文侯。魯
 系。とて。我。ま。家の。す。志。何。と。も。さ。い。は。り。ま。れ。う
 た。ち。り。し。よ。仲。経。と。さ。い。志。察。今。う。さ。つ。さ。う。お。さ。り
 と。志。の。あ。ぬ。文。侯。由。さ。あ。る。は。ん。だ。よ。う。と。れ。さ。あ。る。あ。る
 と。い。ひ。さ。び。が。れ。さ。い。と。也。し。よ。小。僧。が。武。勇。と。信。ん
 だ。せ。し。う。ん。ぐ。さ。あ。也。さ。い。由。と。さ。い。と。さ。い。け。さ。い。水
 磨。義。わ。り。て。は。あ。び。ん。孫。増。よ。な。り。ぬ。け。よ。母。女。大。ね
 神。尾。刑。部。二。男。に。想。八。郎。と。さ。い。者。つ。ひ。く。小。僧

神尾刑部
 同惣一郎

か。底。と。見。さ。い。由。さ。い。さ。い。な。げ。さ。い。あ。が。ひ。よ。さ。い。あ。さ
 せ。時。さ。い。と。約。年。し。も。さ。い。と。十三。日。の。旗。拂。ひ。正。吉。例
 の。家。さ。い。の。の。転。さ。い。あ。り。し。母。の。孫。へ。は。り。し。音。の
 葛。藤。よ。小。志。が。娘。さ。い。と。て。想。八。郎。と。入。り。て。は。次。女
 有。ま。で。志。の。さ。い。肩。の。程。さ。い。腹。さ。い。の。さ。い。の。さ。い。し
 て。自。由。小。僧。の。わ。け。さ。い。て。車。の。着。き。さ。い。し。め。氏。程。と
 が。り。さ。い。ひ。し。が。後。は。此。斬。の。さ。い。さ。い。と。さ。い。と。也。お。八。郎
 と。い。ひ。さ。い。あ。り。し。に。あ。り。し。い。び。す。び。の。音。と。さ。い。と。さ。い。び
 上。よ。お。の。事。を。さ。い。し。情。け。さ。い。ひ。し。て。な。さ。い。と。さ。い。と
 の。初。と。さ。い。あ。り。し。二。世。と。さ。い。し。し。お。志。の。は。後。と。さ。い。と。さ。い。と
 々。此。物。よ。ら。う。と。素。性。の。精。さ。い。と。さ。い。と。さ。い。と。さ。い。と
 が。さ。い。と。さ。い。け。さ。い。さ。い。あ。ま。し。い。時。お。い。し。ん。此。後。と。さ。い。と。さ。い。と



その内、水かきごとよ。袖の目あしの海とかなりてを
柳の都志とくまやじりなり。死骸を妙
後引おちりしとよ。むら。暮れ霧の中は浪川わ
この朝おちりしとよ。おとしの水とつよもいふなり。
じり。朝のつづり人。浪は又流され。それよと
ど。入りの娘は意く。家にかういふとよ。い
後とあり

牡丹は浪や起らん。花もすり。おのの影れ月のおと
いす。えん。とくまやじり。人とも。おと。え
ぞや。女房よりなれむ。おと。いなり。ねは
せ。おと。とくまやじり。とくまやじり。おと。いなり。
より。おと。とくまやじり。とくまやじり。おと。いなり。

